

通知表の見方について（保護者会資料）

福生市立福生第二小学校
校長 湊 仁

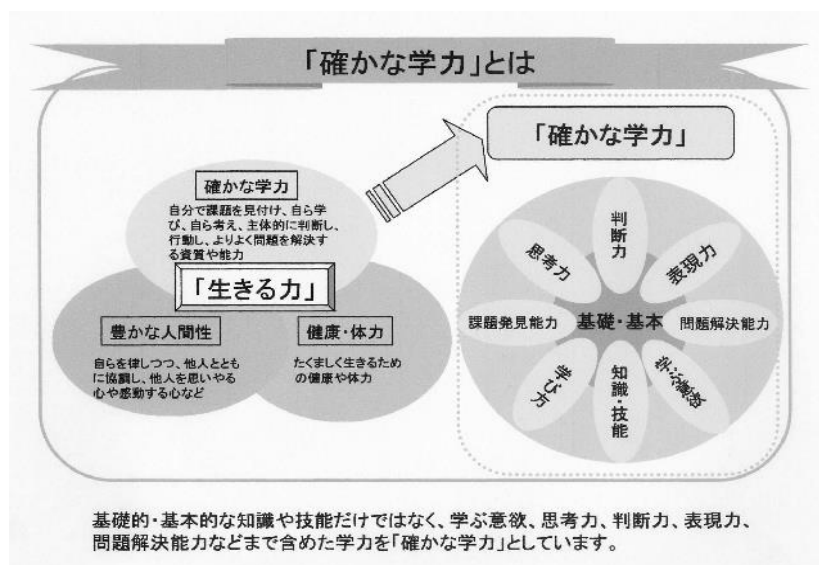
1 通知表の役割

- 子供自身が自分の成長を確かめ、次の目標をもって、生活や学習に取り組んでいく気持ちを高める。
- 学校での子供の様子を保護者に知らせることで、学校と保護者との信頼関係を高める。
- 子供の現在の姿を学校と保護者とで共通に理解し、子供を認め励ましていくとともに、よりよい成長を促すためのよりどころの一つとする。

2 通知表の内容について

(1) 学習のようす

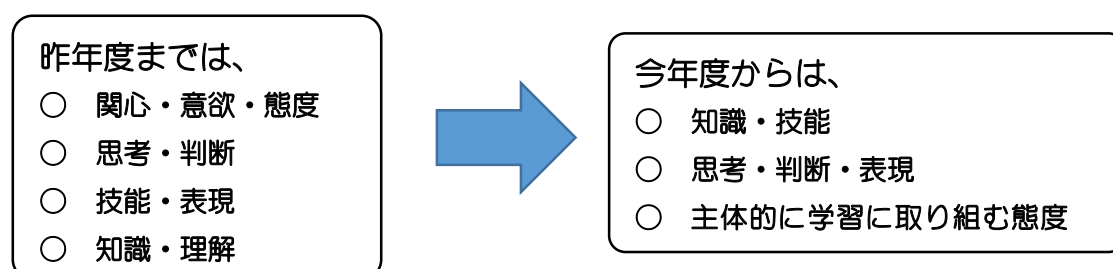
- ① 子供たちに身に付けさせたい
「確かな学力」
- ② これらの「学力」を
身に付けるための手立て
学校生活全体を通して身に付くよう
に努力しています。特に授業の中で
指導していきます。



③ 一人一人の「学力」をどのように見ているか

右上の図に示した8つの「学力」を、通知表では教科ごとに3つの項目に整理して見えています。（「観点」という言葉で表します。）

今年度から新学習指導要領が完全実施となりました。それに伴い通知表の観点も変わります。



評価の視点

- **知識・技能**（知識を身に付けること・理解すること）
 - 何を理解しているか。何ができるか。
文章による説明をしたり、観察・実験をしたり、式やグラフで表現したりできるか。
- **思考・判断・表現**（考え方・考える力・使う力・表現する力）
 - 理解していること・できることをどう使うか。
問題を見出し、結果を予想しながら実行できるか。
自分の考えを形成したり文章や言葉で表現したり多様な考えを理解したりできるか。
- **主体的に学習に取り組む態度**
 - 自ら学習の目標をもち、進め方を見直しながら学習を進めているか。
知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりしようと、粘り強く取り組んでいるか。

全ての教科で以上の3観点で評価します。

(2) 学習のようす

① 各教科

1・2年生：国語、算数、生活、音楽、図工、体育

3・4年生：国語、社会、算数、理科、音楽、図工、体育

5・6年生：国語、社会、算数、理科、音楽、図工、体育、家庭、外国語

※1年生の1学期だけ2段階評価、それ以外は3段階評価です。

② 総合的な学習の時間

3年生以上：「総合的な学習の時間」欄

③ 外国語活動

3・4年生：毎学期「外国語活動」欄

④ 特別の教科 道徳

全学年：3学期「特別の教科 道徳」欄

(2) 生活のようす

① 生活目標

学校の教育目標と関連させ、子供に育ててほしい基本的な生活習慣や規律ある生活態度を観点としています。

② 特別活動の記録

係活動などの取り組み（全学年）、委員会活動（5・6年生）、クラブ活動（4～6年生）を記載しています。

③ 出欠席のようす

授業日数・忌引き・出席停止・出席日数・欠席日数の様子をそれぞれ記載します。発熱で学校を休んだ時は「欠席」でなく「新型コロナウイルス感染症対応による出席停止」としてしています。

(3) 担任から

お子さんの成長や頑張り、課題等をお伝えしていきます。

3 通知表の形式

- 学習指導要領改訂に伴い、通知表の形式がこれまでと変わっております。ご承知おきください。
- 捺印をして新学期になりましたら、学校へお戻しください。3学期末はそのままお持ちください。今年度からご家庭から学校への一言コメントはなくなりました。

4 通知表の活用について

- ◎ **たくさんある子供のよさを認め褒めてあげることは、その子のよさを引き出し、個性を伸ばしていくこととなります。まず、子供の頑張りを認めること。そのことが、子供にとって自信につながり、意欲的に学習や生活に取り組むもととなります。**
- 通知表の評価は、一人一人の子供を認め励ますためにあります。
- 学習、生活の様子は、子供が何を頑張っているかという見方をしてください。